

地方創生フォーラム

なぜ、かまぼこ屋がエネルギーのことを考えたのか
～エネルギーから経済を考える～

2019年9月28日

鈴廣かまぼこグループ 代表取締役副社長
一般社団法人エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議 代表理事
小田原箱根商工会議所 会頭
鈴木佛介

1

小田原

2

3

4

5

鈴廣かまぼこ

鈴廣かまぼこ
本社:神奈川県小田原市
創業:154年 慶応元年(1865年)
社員:700名

6

社是

「老舗にあつて 老舗にあらず」

7

7

企業理念

食するとは、生命をいただき、生命をうつしかえること。

その一翼を担うのが私たちの仕事。

かけがえのない地球の中で、この役割こそ我が天職。

8

8

いただきます

9

9

いのちのバトンタッチ

10

10

60兆個の細胞

11

11

全てはつながっている

12

12

エネルギーから経済を考える



13

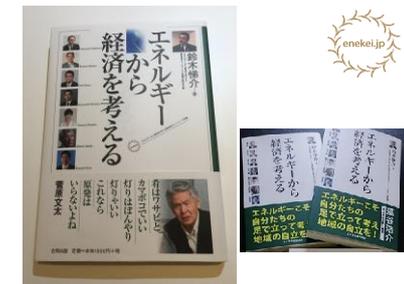
13

エネルギーから経済を考える 経営者ネットワーク会議



14

14



15

15

活動の柱は...

1. 賢いエネルギーの使い方を学び、実践する
= 省エネ
2. 地域で再生可能エネルギーを中心とした
エネルギーの地産地消のしくみをつくる



16

16

「エネルギー何でも相談所」



17

17

わがふるさとの取り組み

1. ほうとくエネルギー
2. 湘南電力
3. 小田原箱根エネルギーコンソーシアム
4. ソーラーシェアリング
5. ささやかなわが社の取り組み



18

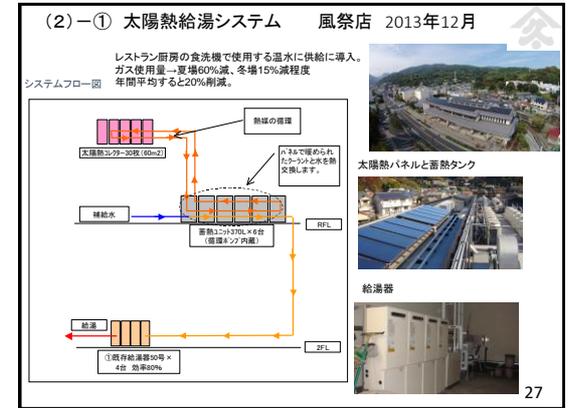
18



25



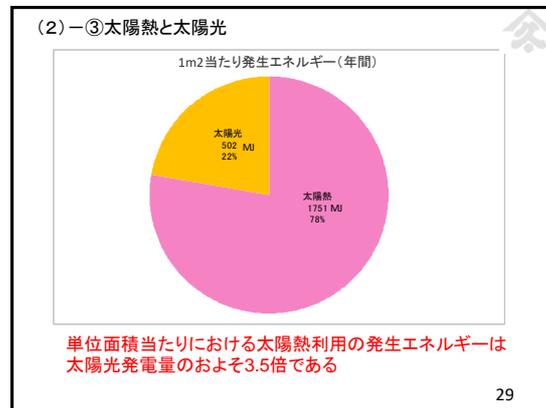
26



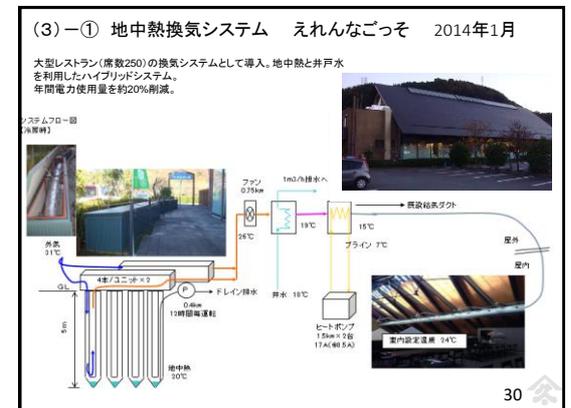
27



28



29



30

(4) コージェネレーションシステム えれんなごっそ 2015年1月

発電電力は通常時にはピークカットとして、非常時には非常用電源として最低限の施設利用を可能とするために導入。
また、発生する温水は熱交換し施設内で給湯に利用。

小田原市の一時避難施設に指定
レストランえれんなごっそ
災害対応ガス・コージェネレーションシステム概要図

31

31



32

2. 本社新築プロジェクト ZEBのチャレンジ

一次エネルギー削減率・・・60.2%

1. 外皮性能アップ
・壁、床、天井の高断熱化
・Low-Eペアガラス全面採用

2. 省エネシステム、高性能機器導入
・地下水を利用した地中熱空調・給湯システム
・LED照明導入、人感センサー照度センサー制御
・光ダクトによる自然採光導入
・エネルギー管理(MBMS)システムの導入

3. 創エネ
・30kw太陽光発電
・蓄電池(20kw)に貯めて施設内で有効活用

33

33



34

エネルギーから経済を考える

35

35

2つの視点

1. 「エネルギー＝電力」ではない
2. 地方創生は再生可能エネルギーの地産地消で

36

36

表2 全国の最終エネルギー消費量の内訳

内 訳	平成22(2010)年度		平成27(2015)年度		増減
	実績値 (TJ)	割合 (%)	実績値 (TJ)	割合 (%)	
合 計	12,515,869	100.0	11,808,842	100.0	△5.6%
電力消費量	3,498,861	28.0	3,238,792	27.4	△7.4%
熱消費量	8,443,037	67.5	8,069,015	68.3	△4.4%
石炭	1,936,892	15.5	1,850,605	15.7	△4.5%
石炭製品	313,699	2.5	377,738	3.2	20.4%
石油	4,248,968	33.9	3,904,368	33.1	△8.1%
天然ガス	149,683	1.2	153,305	1.3	2.4%
都市ガス	1,578,006	12.6	1,605,228	13.6	1.7%
炭	215,789	1.7	177,771	1.5	△17.6%
再生可能・未活用エネルギー	573,971	4.6	501,035	4.2	△12.7%

出所：資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」をもとに作成
※細数処理の関係上、合計が一致しないことがあります。

37

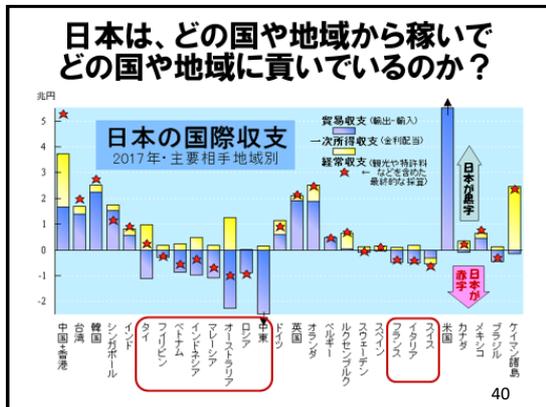
エネルギーの全体像を見る



38



39



40

再生可能エネルギーの地産地消



41

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



Public Private ACTION for Partnership!!
～SDGsで日本を元気に、世界を元気に
その主役はあなたです！～

42

ふるさとは 借り物



49

地方創生フォーラム なぜ、かまぼこ屋がエネルギーのことを考えたのか？ ～エネルギーから経済を考える～

鈴鹿かまぼこグループ 代表取締役副社長
小田原箱根商工会議所 会談
一般社団法人 エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議 代表理事
鈴木博介

1. なぜ、かまぼこ屋がエネルギーのことを考えたのか？

- ・ 食の仕事
- ・ いただきます
- ・ いのちのバトンタッチ
- ・ 60兆円の価値
- ・ すべてはつながっている

2. エネルギーから経済を考える

- ・ 一社) エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議 (エネ経会議) のこと
- ・ 省エネは宝の山
 - ・ 地域で再生可能エネルギーの地産地消を
 - ・ エネルギーの全体像を顧る (エネルギー=電力ではない)
 - ・ 地域経済活性化策としてのエネルギーへの取り組み

3. 持続可能な地域とそれを支える地域経済は持続可能なエネルギーで

- ・ 気候変動
- ・ 気候変動イニシアティブ (JCI) のこと
- ・ 世界の潮流 SDGs/RE100/ESG 投資
- ・ ピンチはチャンス
- ・ ふるさは借りもの

鈴木 博介 プロフィール



【略歴】

1955年 神奈川県小田原市にてかまぼこ屋の次男として生まれる。神奈川県立湘南高校卒、上智大学 経済学部卒。

1981年から1991年まで、米田ロスマンジェルスにて、スリミ、かまぼこの普及のため、現地法人の立ち上げと経営にあたる。帰国後は家業である鈴鹿の経営に参画。
現在、鈴鹿かまぼこグループの代表取締役副社長。

2000年・2001年度 (平成12・13年度) 小田原箱根商工会議所青年部 会長

2003年度 (平成15年度) 日本商工会議所青年部 会長

2004年 (平成16年) よりアジア商工会議所連合会 若手経営者委員会副委員長

2010年～2013年 (平成22年～25年) 小田原箱根商工会議所 副会頭

2013年 (平成25年～) 小田原箱根商工会議所 会頭

合同会社まち元気 小田原 代表社員、一般社団法人 エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議 代表理事、一般社団法人場所文化フォーラム 理事、ローカルサミット NEXT in 小田原実行委員会、気候変動イニシアティブ「JCI」設立メンバー、小田原北ロータリークラブ会員など

【活動の概略】

慶応元年 (1865年) 創業の歴史を尊重しつつ、変化し続ける日本人の食生活の中で、かまぼこの存在価値を高めるべく挑戦の日々である。「食べもののいのちを大切に」をモットーとする。

併せ、商工会議所活動にも関わり、日本の元気は地域からという考え方で、地元のみならず、全国のネットワークを活かし、地域の資産を活かした活性化を目指し活動。

「エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議」を立ち上げ、2013年11月に一般社団法人化。現在、その代表理事を務める。著書『エネルギーから経済を考える』を出版。

他 (2019年9月現在)